

への BDNF 抗体投与が知覚の再生に及ぼす影響. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2013 年 11 月 9 日, 新潟歯学会雑誌 43 巻 2 号 161 頁, 2013.

- 4) 大竹正紀, 内田喜昭, 河合美佐子, 齋藤 功, 山村健介: 苦味刺激およびうま味刺激のヒト咽頭領域における嚥下反射変調効果. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本, 2013 年 10 月 7-9 日, 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 72 回 162 頁, 2013.
- 5) 高橋功次朗, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 上喉頭神経の嚥下誘発における促進効果. 第 72 回日本矯正歯科学会大会, 松本, 2013 年 10 月 7-9 日, 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 72 回 163 頁, 2013.
- 6) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 齋藤 功, 山田好秋, 山村健介: 中咽頭への味刺激が電気刺激由来の嚥下反射誘発に及ぼす影響. 日本咀嚼学会第 24 回学術大会, 新潟, 2013 年 10 月 5-6 日, 日本咀嚼学会第 24 回学術大会プログラム・抄録集 49 頁, 2013.
- 7) 八田あずさ, 黒瀬雅之, 藤井規孝, 山村健介: 上喉頭神経同時刺激による嚥下誘発の促進. 第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岡山, 2013 年 9 月 20 日, Journal of Oral Biosciences Supplement 2013 巻 179 頁, 2013.
- 8) 高橋功次朗, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 乾燥による上皮細胞の乾燥は、さらなる乾燥を誘発する. 第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岡山, 2013 年 9 月 20 日, Journal of Oral Biosciences Supplement 2013 巻 150 頁, 2013.
- 9) 吉川博之, Valverde Guevara Y.M., 前田健康, 黒瀬雅之, 山村健介, 瀬尾憲司: 末梢神経切断後の局所抗 BDNF 抗体投与の軸索再生への影響. 第 35 回日本疼痛学会, さいたま, 2013 年 7 月 12 日.
- 10) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 齋藤 功, 山村健介: 嚥下誘発における中咽頭への苦味刺激の効果とうま味刺激との相互作用. 平成 25 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2013 年 7 月 6 日, 新潟歯学会雑誌 43 巻 2 号 146 頁, 2013.
- 11) 朝日藤寿一, 長津聡子, 山田好秋, 齋藤 功, 山村健介: 表情筋トレーニングの効果に関する定量的評価について. 第 28 回 甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2013 年 5 月 26 日, 甲北信越矯正歯科学会雑誌 21 巻 1 号 39 頁, 2013.
- 12) 内田喜昭, 大竹正紀, 河合美佐子, 高辻華子, 寺田員人, 山村健介: 味刺激がヒト嚥下反射に及ぼす影響. 第 28 回 甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2013 年 5 月 26 日, 甲北信越矯正歯科学会雑誌 21 巻 1 号 40 頁, 2013.

【研究会発表】

- 1) 長谷川真奈, 山田好秋, 黒瀬雅之, 大竹正紀, 藤井規孝, 山村健介: 大気圧センサを用いた咽頭内部気圧の経時的測定. 第 7 回 三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 新潟, 2013 年 11 月 30 日, 同研究会プログラム・予稿集: 10 頁, 2013.
- 2) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 山田好秋, 山村健介: 苦味刺激が嚥下反射誘発におよぼす効果とうま味刺激の相互作用. 第 7 回 三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 新潟, 2013 年 11 月 30 日, 同研究会プログラム・予稿集: 10 頁, 2013.

【受賞】

- 1) 大竹正紀: 大気圧センサを用いた咽頭内部気圧の経時的測定. 第 20 回 特定非営利活動法人日本咀嚼学会学術大会優秀ポスター賞, 2013 年 10 月 5-6 日.

歯周診断・再建学分野

【著書】

- 1) 山崎和久, 多部田康一: 第 1 章 歯周疾患を正しく理解するための基礎知識, 6. 歯周疾患の免疫学. ザ・ペリオドントロジー第 2 版 (和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編者), 21-26 頁, 永末書店, 京都, 2014.
- 2) 小林哲夫, 吉江弘正: 第 3 章 検査、診断と治療, 2. 歯周病の検査<アドバンス編>歯周病の活動性. ザ・ペリオドントロジー第 2 版 (和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編者), 84 頁, 永末書店, 京都, 2014.
- 3) 小林哲夫: 第 9 章ペリオドンタルメディシン. 8 歯周病と関節リウマチ. ザ・ペリオドントロジー第 2 版 (和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編者), 258-259 頁, 永末書店, 京都, 2014.
- 4) 両角俊哉, 吉江弘正: 第 4 章 ペリオドンタルメディシンに基づいた抗菌療法. ペリオドンタルメディシンに基づいた抗菌療法の臨床 (三辺正人, 吉野敏明, 田中真喜 編者), 医学情報社, 東京, 2013.
- 5) 小林哲夫: 第 4 章 身につけたい看護技術. 4. 口腔ケア『納得! 実践シリーズ リウマチ看護パーフェクトマニュアル』 (村澤章・元木絵美 編著), 202-208 頁, 羊土社, 東京, 2013.

【論文】

- 1) Wang Y, Sugita N, Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yosie H: PPAR γ gene polymorphism, C-reactive protein level, BMI and periodontitis in post-menopausal Japanese women. Gerodontology, in

- press.
- 2) Maekawa T, Hajishengallis G: Topical treatment with probiotic *Lactobacillus brevis* CD2 inhibits experimental periodontal inflammation and bone loss. *J Periodontal Res*, in press.
 - 3) Domon H, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: Age-related alterations in gene expression of gingival fibroblasts stimulated with *Porphyromonas gingivalis*. *J Periodontal Res*, in press.
 - 4) Morozumi T, Kubota T, Abe D, Shimizu T, Nohno K, Yoshie H: Microbiological effect of essential oils in combination with subgingival ultrasonic instrumentation and mouthrinsing in chronic periodontitis patients. *Int J Dent*, in press.
 - 5) Maruyama S, Itagaki M, Ida-Yonemochi H, Kubota T, Yamazaki M, Abe T, Yoshie H, Cheng J, Saku T: Perlecan-enriched intercellular space of junctional epithelium provides primary infrastructure for leukocyte migration through squamous epithelial cells. *Histochem Cell Biol*, in press.
 - 6) Okui T, Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Yamazaki K: The role of distinct T cell subsets in periodontitis - Studies from humans and rodent models. *Curr Oral Health Rep* 1: 114-123, 2014.
 - 7) Hagiwara M, Kurita-Ochiai T, Kobayashi R, Hashizume-Takizawa T, Yamazaki K, Yamamoto M: Sublingual Vaccine with GroEL Attenuates Atherosclerosis. *J Dent Res* 93: 382-387, 2014.
 - 8) Kubota T, Maruyama S, Abe D, Tomita T, Morozumi T, Nakasone N, Saku T, Yoshie H: Amyloid beta (A4) precursor protein expression in human periodontitis-affected gingival tissues. *Arch Oral Biol* 59(6): 586-594, 2014.
 - 9) Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Shinhara A, Muramatsu T, Kobayashi T, Narita I, Nakazono K, Murasawa A, Yoshie H: Amino acid profiles in relation to chronic periodontitis and rheumatoid arthritis. *Open Journal of Stomatology* 4(2): 49-55, 2014.
 - 10) Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Miyauchi S, Miyazawa H, Yamada H, Domon H, Tabeta K, Yamazaki K: Natural killer T cells mediate alveolar bone resorption and a systemic inflammatory response in response to oral infection of mice with *Porphyromonas gingivalis*. *J Periodontal Res* 49: 69-76, 2014.
 - 11) Nakajima M, Honda T, Miyauchi S, Yamazaki K: Th2 cytokines efficiently stimulate periostin production in gingival fibroblasts but periostin does not induce inflammatory response in gingival epithelial cells. *Arch Oral Biol* 59: 93-101, 2014.
 - 12) Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Ishida K, Kojima A, Narita I, Murasawa A, Yoshie H: Assessment of Interleukin-6 Receptor Inhibition Therapy on Periodontal Condition in Patients with Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis. *J Periodontol* 85(1): 57-67, 2014.
 - 13) Yokoyama T, Kobayashi T, Ito S, Yamagata A, Ishida K, Okada M, Oofusa K, Murasawa A, Yoshie H: Comparative Analysis of Serum Proteins in Relation to Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis. *J Periodontol* 85(1): 103-112, 2014.
 - 14) Abe D, Kubota T, Morozumi T, Yoshie H: Upregulated genes in toll-like receptor (TLR) signaling pathway in periodontitis-affected gingival tissue. *Open Journal of Stomatology* 4(1), 22-28, 2014.
 - 15) Kawase T, Uematsu K, Kamiya M, Nagata M, Okuda K, Burns DM, Nakata K, Yoshie H: Real-time quantitative PCR and flow-cytometric analyses of cell adhesion molecules expressed in human cell-multilayered periosteal sheets in vitro. *Cytotherapy* 16(5): 653-61, 2014.
 - 16) Yoshihara A, Sugita N, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K: The interaction between beta-3 adrenergic receptor polymorphism and obesity to periodontal disease in community-dwelling elderly Japanese. *J Clin Periodontol* 41(5): 460-466, 2014.
 - 17) Tabeta K, Hoebe K, Janssen EM, Xia Y, Beutler B: Respond to "No antigen-presentation defect in Unc93b1(3d/3d) (3d) mice". *Nat Immunol* 14(11): 1102-1103, 2013.
 - 18) Huang H, Zhao P, Arimatsu K, Tabeta K, Yamazaki K, Krieg L, Fu E, Zhang T, Du X: A deep intronic mutation in the ankyrin-1 gene causes diminished protein expression resulting in hemolytic anemia in mice. *G3 (Bethesda)* 3(10): 1687-95, 2013.
 - 19) Tomita T, Kubota T, Nakasone N, Morozumi T, Abe D, Maruyama S, Shimizu T, Horimizu M, Saku T, Yoshie H: Gene and protein localisation of Tumor Necrosis Factor (TNF) - α converting enzyme in gingival tissues from periodontitis patients with drug-induced gingival overgrowth. *Arch Oral Biol* 58(8): 1014-1020, 2013.
 - 20) Horimizu M, Kawase T, Nakajima Y, Okuda K, Nagata M, LF. Wolff, Yoshie H: An improved freeze-dried PRP-coated biodegradable material suitable for connective tissue regenerative therapy. *Cryobiology* 66(3): 223-232, 2013.
 - 21) 川瀬知之, 奥田一博, 永田昌毅, 吉江弘正, 中田光:

自家培養骨膜シートの移植による歯周再生・顎堤形成治療より高活性な移植材料をめざして. 今日の移植 26 巻 5 号: 425-433 頁, 2013.

- 22) 藤岡陽介, 両角俊哉, 久保田健彦, 吉江弘正: 慢性歯周炎患者の歯周病原細菌および揮発性硫黄化合物に対する包括的口腔ケアの効果. 日本歯科保存学雑誌 56 巻 6 号: 551-559 頁, 2013.
- 23) Okuda K, Kawase T, Nagata M, Yamamiya K, Nakata K, Wolff LF, Yoshie H: 組織工学的に作製された培養骨膜シートの歯周骨内欠損に対する治療効果: 症例シリーズと 5 年経過予後 (Tissue engineered cultured periosteum sheet application to treat infrabony defects: case series and 5-year results.). Int J Periodontics Restorative Dent (日本語版) 21 巻 4 号: 31-36 頁, 2013.
- 24) 岡田崇之, 杉田典子, 大塚明美, 青木由香, 高橋昌之, 吉江弘正: 殺菌および抗炎症作用を有する歯磨剤ジェルコート F の歯周治療後残存歯周ポケットに対する効果. 日本歯科保存学雑誌 56 巻 4 号, 344-352 頁, 2013.
- 25) 奥田一博, 吉江弘正, 川瀬知之, 中田光: 新潟大学の臨床研究を活性化するためにはどのような仕組みが必要か? 3 自己培養骨膜シートを用いた歯槽骨再生研究—データをどのように収集してどのように評価するか—. 新潟医学会雑誌 127 巻 7 号: 349-354 頁, 2013.
- 26) 中島貴子, 山崎和久: 広汎型侵襲性歯周炎患者の SPT 期に経口抗菌療法を併用した一症例. 日歯周誌 55 巻 2 号: 183-188 頁, 2013.

【商業誌】

- 1) 山崎和久, 中川種昭, 中島貴子: 座談会「歯周病治療におけるシタフロキサシンの位置づけ」. 歯界展望 123 巻 2 号, 386-390 頁, 医歯薬出版, 2014.
 - 2) 吉江弘正: 座談会 保健と医療のベストミックス—これからの歯科医療政策をどう構築するか—. 会誌「8020」第 13 号: 24-39 頁, 8020 推進財団, 2014.
 - 3) 奥田一博, 川瀬知之, 吉江弘正: 4 培養骨膜シート移植を応用した歯周組織再生法 特集 歯周組織再生療法の現状と未来—臨床的エビデンスの構築を目指して—. 季刊 歯科医療 28 巻 1 号: 27-35 頁, 第一歯科出版, 2014.
 - 4) 両角俊哉, 中川種昭, 吉江弘正: 歯周病進行予知マーカーとしての細菌検査・抗体価検査の可能性. 歯界展望 121 巻 4 号, 725-729 頁, 医歯薬出版, 2013.
 - 5) 小松康高: エルビウムヤグレーザーと歯周治療. 東京医師歯科医師会雑誌 TMDC MATE 第 279 号: 21 頁, 東京歯科医師会, 2013.
- #### 【研究費獲得】
- 1) 吉江弘正: 歯周炎・糖尿病・リウマチの共通リスクサイトカイン遺伝子の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A), 25253104, 2013.
 - 2) 吉江弘正: 歯周炎病因論に基づくサイトカイン標的療法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 24659922, 2013.
 - 3) 山崎和久, 多部田康一, 中島貴子: 脂質代謝バランスの揺らぎと歯周疾患のパスウェイ解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 23390476, 2013.
 - 4) 奥田一博: 分画化歯根膜細胞とのブレンドによる培養骨膜シートの高機能化と新治療法への展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 24390465, 2013.
 - 5) 奥田一博: 自己培養骨膜シートを用いた歯槽骨再生研究. 平成 25 年度新潟大学臨床研究サポート事業 (平成 24 年度継続分).
 - 6) 小林哲夫: ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22592309, 2013.
 - 7) 杉田典子: 歯周炎・肥満・骨粗鬆症関連遺伝子 PPAR ガンマーの閉経後女性における解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24593121, 2013.
 - 8) 中島貴子: IL-10 応答を中心とした歯周病原細菌感染に対する慢性炎症成立機構の基盤解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25463216, 2013.
 - 9) 久保田健彦: 歯周炎罹患歯肉局所におけるアルツハイマー病関連遺伝子の発現亢進を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24593119, 2013.
 - 10) 多部田康一, 山崎和久: 口腔—消化管の粘膜免疫システムを介した口腔感染と動脈硬化性疾患の関連機序. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23593056, 2013.
 - 11) 両角俊哉: 歯周炎および喫煙が IL-6 遺伝子プロモーター領域の DNA メチル化に及ぼす影響. 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2013.
 - 12) 小松康高: スケーリング後の歯血症に伴う生体応答～IL-6 コンポーネントとの関連性の解析～. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24593120, 2013.
 - 13) 奥井隆文: 歯周炎予防・治療におけるレスベラトロールの応用に向けた基礎的な研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25463215, 2013.

- 14) 清水太郎: GCF 中のタンパク質から歯肉増殖症の病態を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23890063, 2013.
- 15) 高橋直紀: 口腔粘膜上皮における新規イオンチャネルの網羅的発現解析とその機能の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 13J04959, 2013.
- 16) 野中由香莉: 腸管を介した歯周炎-メタボリックシンドローム病因論-TRP チャネルの関与-. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 25893079, 2013.
- 17) 野中由香莉: TRP チャネルの免疫調節機能-腸管を介した歯周病原細菌による炎症誘導メカニズムへの関与. 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2013.
- 18) 小神浩幸, 川瀬知之, 奥田一博: PRF による創傷治癒促進効果の機序解明と効果的組織工学的応用法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23592881, 2013.
- 19) 星名秀行, 永田昌毅, 川瀬知之, 奥田一博, 魚島勝美: 培養骨膜細胞による歯槽骨再生 Phase II 臨床試験と将来の無血清化への基礎的検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23592985, 2013.
- 20) 伊藤弘, 埴岡隆, 王宝禮, 山本龍生, 両角俊哉, 藤井健男, 森田学, 稲垣幸司, 沼部幸博: 喫煙は歯周治療における超過医療費因子となりうる-禁煙治療の歯科健康保険導入を目指して-. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25463267, 2013.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Yamazaki K: Periodontitis and Systemic Disease -New Insights into the Mechanisms-. Kyudai Oral Bioscience 2014 -8th International Symposium-, 福岡リーセントホテル, 福岡市, 2014年3月1日.
- 2) Yoshie H: Bacteraemia and laser therapy. 2014 Research meeting of new development for periodontology and periodontics. Harbin medical University, Harbin, China, January 10, 2014
- 3) Kubota T: Basic and Clinic of Drug-induced Gingival Overgrowth. 2014 Research meeting of new development for periodontology and periodontics. Harbin medical University, Harbin, China, January 10, 2014.
- 4) Nakajima T: Regulatory cell Subsets in the Pathogenesis of Periodontitis. 2nd Meeting of the International Association for Dental Research Asia Pacific Region (IADR-APR), Bangkok, Thailand, August 21, 2013.
- 5) 小林哲夫: リウマチと歯周病. 第21回新潟リウマチの会 教育講演, 新潟大学医学部有壬記念館, 新潟市, 2014年1月11日.
- 6) 吉江弘正: 歯周病予防検査はどうあるべきか. 8020推進財団学術集会 第11回8020フォーラム, 日本歯科医師会館, 東京都, 2013年10月19日.
- 7) 奥田一博: 培養骨膜シート移植による歯周病治療. 新潟医学会再生医療シンポジウム「再生医療による難治性疾患治療の幕開け」, 新潟大学医学部有壬記念館, 新潟市, 2013年10月19日.
- 8) 奥田一博: シンポジウム I 「サイトカイン治療 vs. 細胞治療」培養骨膜シートによる歯周組織再生療法. 第56回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋市, 2013年9月22日.
- 9) 両角俊哉: 洗口剤併用による口腔内細菌のコントロール. 第56回秋季日本歯周病学会学術大会 ランチョンセミナー II エッセンシャルオイルを用いた3ステップケアの臨床・疫学評価, 前橋市, 2013年9月22日.
- 10) 杉田典子: 歯周炎と全身疾患の関連についての総説および PROST データからの解析結果. 第2回臓器連関研究シンポジウム, 新潟市, 2013年8月5日.
- 11) 山崎和久: 歯周病と心血管病変リスクの関連. 第102回日本病理学会総会 ワークショップ「口腔内炎症性疾患と全身の関連」, 札幌市, 2013年6月7日.
- 12) 川瀬知之, 奥田一博, 永田昌毅, 吉江弘正, 中田光: 自己培養骨膜シートの移植による歯周再生・顎堤形成治療-より高活性な移植材料をめざして-. 第27回新潟移植再生研究会シンポジウム, 新潟市, 2013年5月24日.
- 13) 吉江弘正: なくそう減らそう歯の病気「歯周病とその予防」. 日本歯科医師会・毎日新聞社共催シンポジウム, 丸ビルホール7階, 東京都, 2013年5月19日.
- 14) 吉江弘正: 歯周病治療のこれから. 昭和薬品化工株式会社主催 学術講演, 昭和薬品化工 本社, 東京都, 2013年5月7日.

【学会発表】

- 1) Miyazawa H, Honda T, Miyauchi S, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: Effect of periodontal infection on serum PCSK9 and lipid profiles. 3rd International symposium on health through oral health collaborative education, research and practices, Thailand, December 20-22. 2013.
- 2) Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Ishida K, Kojima A, Narita I, Murasawa A, Yoshie H: Effect of Interleukin-6 Receptor Inhibition Therapy on Periodontal Condition in Patients with Rheumatoid

- Arthritis and Periodontitis. The 10th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, Japan, September 3-4, 2013.
- 3) Ishida K, Kobayashi T, Yokoyama T, Okada M, Kojima A, Komatsu Y, Yoshie H: Interleukin-6 Gene Promoter Methylation in Periodontal Tissues. 10th Asian Pacific Society of Periodontology. Nara, Japan, September 3-4, 2013.
 - 4) Okada M, Kobayashi T, Ito S, Yokoyama T, Abe A, Murasawa A, Yoshie H: Effects of Periodontal Treatment on Antibodies to *Porphyromonas gingivalis* and Citrulline levels and Rheumatoid Arthritis Condition. The 10th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, Japan, September 3-4, 2013.
 - 5) Kojima A, Kobayashi T, Ishida K, Okada M, Yoshie H: Tumor Necrosis Factor-Alpha Gene Promoter Methylation in Chronic Periodontitis. The 10th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, Japan, September 3-4, 2013.
 - 6) Nakajima M, Honda T, Miyauchi S, Murakami S, Yamazaki K: Periostin stimulates in inflammatory response of gingival fibroblast in an autocrine manner. 10th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, Japan, September 3-4, 2013.
 - 7) Minagawa T, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, and Yamazaki K: Anti-inflammatory effects of resveratrol in human gingival epithelial cells. 3rd Meeting of the IADR Pan Asian Pacific Federation, Bangkok, Thailand, August 21, 2013.
 - 8) 堀水慎, 川瀬知之, 久保田健彦, 永田昌毅, 奥田一博, 富田尊志, 両角俊哉, 吉江弘正: Platelet-rich fibrin (PRF) との複合化によるヒト培養骨膜シートの複合化による骨形成活性の亢進. 第13回日本再生医療学会総会, 京都, 2014年3月4日, 日本再生医療学会雑誌 再生医療増刊号 第13回日本再生医療学会総会プログラム・抄録第13巻別冊: 193頁, 2014.
 - 9) 川瀬知之, 上松晃也, 永田昌毅, 奥田一博, 中田光, 吉江弘正: 細胞重層化したヒト培養骨膜シートと単層骨膜細胞シートの細胞接着様式の比較. 第13回日本再生医療学会総会, 京都, 2014年3月4日, 日本再生医療学会雑誌 再生医療増刊号 第13回日本再生医療学会総会プログラム・抄録第13巻別冊: 194頁, 2014.
 - 10) 小林美登, 川瀬知之, 奥田一博, 吉江弘正: ヒト培養骨膜細胞の直接的血管新生作用. 第13回日本再生医療学会総会, 京都, 2014年3月5日, 日本再生医療学会雑誌 再生医療増刊号 第13回日本再生医療学会総会プログラム・抄録第13巻別冊: 321頁, 2014.
 - 11) 堀水慎, 川瀬知之, 中島悠, 奥田一博, 永田昌毅, 吉江弘正: コラーゲンスポンジと複合化した凍結乾燥PRPの有効性. 平成25年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2013年11月9日, 新潟歯学会雑誌 第43巻第2号: 154頁. 2013.
 - 12) 山田ひとみ, 土門久哲, 宮内小百合, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルにおいて小胞体ストレスは破骨細胞形成に関与し歯槽骨吸収を誘導する. 平成25年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2013年11月9日. 新潟歯学会雑誌 第43巻第2号: 154頁. 2013.
 - 13) 中島貴子, 奥井隆文, 伊藤晴江, 中島麻由佳, 多部田康一, 山崎和久: 歯周ポケットから臨床分離株に対する抗菌薬の有効性, 耐性の検討. 日本歯科保存学会 2013年度秋季学術大会 (第139回), 秋田市, 2013年10月17日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 51頁, 2013.
 - 14) 小林美登, 川瀬知之, 奥田一博, 吉江弘正: ヒト骨膜細胞の血管新生促進作用の検証. 日本歯科保存学会 2013年度秋季学術大会 (第139回), 秋田市, 2013年10月18日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 148頁, 2013.
 - 15) 堀水慎, 久保田健彦, 川瀬知之, 奥田一博, 富田尊志, 両角俊哉, 吉江弘正: Platelet-rich fibrin-ヒト培養骨膜シート複合体移植による骨再生能の向上. 日本歯科保存学会 2013年度秋季学術大会 (第139回), 秋田市, 2013年10月18日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 220頁, 2013.
 - 16) 中島麻由佳, 本田朋之, 宮内小百合, 村上伸也, 山崎和久: 歯周炎病態形成における Periostin の役割. 日本歯科保存学会 2013年度秋季学術大会 (第139回), 秋田市, 2013年10月18日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 223頁, 2013.
 - 17) 石田光平, 小林哲夫, 横山智子, 岡田萌, 小島杏里, 小松康高, 吉江弘正: 歯周炎罹患組織における IL-6 遺伝子プロモーター領域のメチル化解析. 日本歯科保存学会 2013年度秋季学術大会 (第139回), 秋田市, 2013年10月18日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 224頁, 2013.
 - 18) 花井悠貴, 杉田典子, 葭原明弘, 王燕銘, 宮崎秀夫, 吉江弘正: 歯周炎と骨密度の関係に IL-6 遺伝子が与える影響の解析. 第56回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋市, 2013年9月22日, 日本歯周病学会誌 第55巻秋期特別号: 32頁, 2013.
 - 19) 杉田典子, 中曾根直弘, 花井悠貴, 高橋昌之, 伊藤晴江, 両角俊哉, 久保田健彦, 奥田一博, 吉江弘

- 正：歯周炎患者における塩酸クロルヘキシジンおよびCPC配合洗口液の抗菌作用．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：36頁，2013．
- 20) 小島杏里，小林哲夫，石田光平，岡田萌，吉江弘正：慢性歯周炎患者におけるTNF- α 遺伝子プロモーター領域のメチル化解析．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：106頁，2013．
- 21) 清水太郎，久保田健彦，両角俊哉，吉江弘正：歯肉増殖症における分子生物学的関連因子ネットワーク解析．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：107頁，2013．
- 22) 奥井隆文，皆川高嘉，多部田康一，中島貴子，村上伸也，山崎和久：Resveratrol は歯肉上皮細胞の炎症性応答を抑制する．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：109頁，2013．
- 23) 高橋直紀，松田由実，多部田康一，山崎和久：歯肉上皮細胞における新規イオンチャネルの発現解析およびその機能の検討．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：110頁，2013．
- 24) 横山智子，小林哲夫，岡田萌，吉江弘正：関節リウマチ患者における歯周状態のTNF 標的療法反応性に及ぼす影響．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：117頁，2013．
- 25) 中島貴子，伊藤春江，奥井隆文，中島麻由佳，宮下博考，多部田康一，山崎和久：歯周病安定期治療中の活動性歯周ポケットに対する経口抗菌療法の細菌学的効果（第2報）．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：120頁，2013．
- 26) 伊藤弘，沼部幸博，橋本修一，森田学，稲垣幸司，埴岡隆，王宝禮，藤井健男，山本龍生，両角俊哉：喫煙は歯周治療における超過医療費因子となりうるか？－禁煙治療の歯科保険導入を目指して－．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：123頁，2013．
- 27) 角田衣理加，中川種昭，両角俊哉，野村義明，川浪雅光，高橋慶壮，佐藤聡，齋藤淳，三邊正人，小方頼昌，和泉雄一，伊藤公一，沼部幸博，吉成伸夫，野口俊英，梅田誠，西村英紀，原宜興，野口和行，花田信弘，高柴正悟，吉江弘正：唾液細菌検査および血漿抗体価検査によるSPT 期進行の予知判定．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：123頁，2013．
- 28) 野村義明，中川種昭，両角俊哉，菅谷勉，鈴木史彦，阿部祐三，大井麻子，高野聡美，中山洋平，小林宏明，菅野直之，関野愉，深谷千絵，吉成伸夫，福田光男，河野智生，藤瀬修，吉村篤利，中村利明，角田衣理加，高柴正悟，吉江弘正：歯周ポケット内細菌検査および血漿抗体価検査によるSPT 期進行の予知判定．第56回秋季日本歯周病学会学術大会，前橋市，2013年9月22日，日本歯周病学会誌 第55巻秋季特別号：124頁，2013．
- 29) 堀水慎，川瀬知之，久保田健彦，永田昌毅，奥田一博，富田尊志，吉江弘正：Platelet-rich fibrin(PRF)との複合化によるヒト培養骨膜シート骨形成活性の亢進．平成25年度新潟歯学会第1回例会，新潟市，2013年7月6日．新潟歯学会雑誌 第43巻第2号：150頁，2013．
- 30) 小林美登，川瀬知之，奥田一博，吉江弘正：多血小板フィブリン-PRF-の血管新生促進作用．平成25年度新潟歯学会第1回例会，新潟市，2013年7月6日．新潟歯学会雑誌 第43巻第2号：150頁，2013．
- 31) 小林哲夫，岡田萌，石田光平，小島杏里，吉江弘正：関節リウマチ患者におけるトシリズマブ治療の歯周状態への影響．日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会（第138回），福岡市，2013年6月28日，日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム：235頁，2013．
- 32) 山田ひとみ，中島貴子，宮澤春菜，奥井隆文，多部田康一，山崎和久：Porphyromonas gingivalis 感染はNKT 細胞のサイトカイン産生を誘導する．日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会（第138回），福岡市，2013年6月27日，日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム：26頁，2013．
- 33) 土門久哲，山田ひとみ，宮内小百合，宮澤春菜，中島貴子，多部田康一，山崎和久：Porphyromonas gingivalis 口腔感染マウスモデルにおいて小胞体ストレスは破骨細胞形成に関与し歯槽骨吸収を誘導する．日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会（第138回），福岡市，2013年6月27日，日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム：27頁，2013．
- 34) 皆川高嘉，奥井隆文，中島貴子，多部田康一，村上伸也，山崎和久：Resveratrol がヒト歯肉上皮細胞の炎症性応答に及ぼす影響．日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会（第138回），福岡市，2013年6月27日，日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム：66頁，2013．
- 35) 山崎和久，有松圭，土門久哲，山田ひとみ，宮内小

百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一: Porphyromonas gingivalis 口腔感染はマウス腸内細菌叢を変動させインスリン抵抗性を誘導する. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 6 月 1 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 42 頁, 2013.

- 36) 有松圭, 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: Porphyromonas gingivalis 口腔感染マウスモデルで誘導させるインスリン抵抗性は脂肪組織及び肝臓における炎症反応と関連する. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 6 月 1 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 42 頁, 2013.
- 37) 宮内小百合, 本田朋之, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞における interleukin(IL) -17 と IL-17 受容体の発現プロファイル. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 16 頁, 2013.
- 38) 小林哲夫, 岡田萌, 石田光平, 小島杏里, 吉江弘正: IL-6 受容体抑制治療中の関節リウマチ患者の歯周状態. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 93 頁, 2013.
- 39) 堀水慎, 久保田健彦, 川瀬知之, 永田昌毅, 奥田一博, 富田尊志, 両角俊哉, 吉江弘正: Platelet-rich fibrin(PRF) との複合化によるヒト培養骨膜シートの骨形成活性の亢進. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 船橋市, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会誌 55 巻 春季特別号: 97 頁, 2013.
- 40) 宮澤春菜, 本田朋之, 宮内小百合, 土門哲久, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎罹患が PCSK9 および脂質プロファイルに及ぼす影響. 第 46 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2013 年 4 月 20 日. 新潟歯学会雑誌 第 43 巻第 1 号: 74 頁, 2013.
- 41) 小川信, 星名秀行, 山田一穂, 勝見祐二, 上杉崇史, 藤井規孝, 荒井良明, 久保田健彦, 小林正治, 櫻井直樹, 田中裕, 永田昌毅, 嵐山貴徳, 齊藤力, 高木律男, 魚島勝美: 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部開設後 6 年間における入院症例の臨床的検討. 平成 25 年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2013 年 4 月 20 日. 新潟歯学会雑誌 第 43 巻第 1 号: 77 頁, 2013.
- 42) 小林哲夫, 伊藤聡, 小林大介, 成田一衛, 村澤章, 吉江弘正: トシリズマブ (TCZ) 療法中の関節リウマチ患者の歯周状態. 第 57 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 京都, 2013 年 4 月 19 日, 第 57 回日

本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集: 361 頁, 2013.

【受賞】

- 1) 有松圭: 2013 IADR/Unilever Hatton Divisional Award.

【その他】

- 1) 吉江弘正: 歯周病治療における抗菌剤の経口投与の効果. Minds 医療情報サービス, 2014 年 1 月 15 日.
- 2) 小林哲夫: 歯周病と RA の関連性. リウマチ Q&A カンファレンス, 和歌山市, 2013 年 11 月 21 日.
- 3) 吉江弘正: 「歯周病と糖尿病」. 富山県南砺市歯科保健推進協議会 歯科保健講演会, ア・ミューホール, 南砺市, 2013 年 10 月 30 日.
- 4) 奥田一博: 歯周組織再生法の現状と最前線—GTR 法, エムドゲイン法, 培養骨膜シート法—. 五泉市阿賀町歯科医師会 学術講演会, 五泉市, 2013 年 10 月 28 日.
- 5) 杉田典子: 関係ある!? 歯周病と全身の健康. 第 28 回佐渡総合病院祭, 佐渡総合病院, 佐渡市, 2013 年 10 月 20 日.
- 6) 吉江弘正: 医の手帳. 朝日新聞, 2013 年 10 月 19 日.
- 7) 吉江弘正: 医の手帳. 朝日新聞, 2013 年 10 月 12 日.
- 8) 吉江弘正: 医の手帳. 朝日新聞, 2013 年 10 月 5 日.
- 9) 小林哲夫: 歯周病と関節リウマチ. 平成 25 年度 OMMC Talk with the expert seminar, 大阪南医療センター, 河内長野市, 2013 年 8 月 22 日.
- 10) 吉江弘正: 歯周病と糖尿病・抗菌・再生治療. 飯田下伊那歯科医師会 臨床研究懇談会 学術講演, 飯田下伊那歯科医師会館, 飯田市, 2013 年 7 月 20 日. 吉江弘正: 糖尿病と歯周病. 和歌山県保険医協会 学術講演, ダイワロイネットホテル和歌山, 和歌山市, 2013 年 4 月 20 日.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 齋藤 功: 第一期治療の意義について考える—第二期治療との関わりの中で—. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK '13 (佐々木一高編) 140-141 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2013.
- 2) 齋藤 功: 「摩擦と固定の負荷について考察する (翻訳)」 「Dholakia KD. Friction and anchorage loading revisited. Orthodontics 2012;13(1): 200-209.」より. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK '13 (佐々木一高編) 127-135 頁, クインテッセンス出版, 東京,